

株主のみなさまへ

..... Vol.50

株主通信 第113期

2019年1月1日～2019年12月31日



100th ANNIVERSARY
1921-2021

表紙:2019年7月 第106回ツール・ド・フランス第18ステージの様子 表紙写真撮影者:Cor Vos



100th ANNIVERSARY
1921-2021



代表取締役社長 島野 容三

事業の経過及び成果

当連結会計年度におきましては、欧州では、雇用・所得環境の改善に支えられ個人消費が景気を下支えたものの、英国のEU離脱問題の不透明感から景気回復は足踏みする格好となりました。米国では、米中貿易摩擦の行方が懸念材料となったものの、良好な雇用・所得環境を背景に景気は堅調に推移しました。日本では、個人消費が緩やかな回復基調にありましたが、世界的な保護主義の動きから企業の業況は力強さを欠き、景気回復のペースは鈍化しました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は363,230百万円（前年同期比4.4%増）となりました。また、利益面につきましては、営業

利益は68,010百万円(前年同期比3.5%増)、経常利益は69,471百万円（前年同期比5.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は51,833百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

自転車部品

欧州市場では、引き続き天候にも恵まれ、完成車の店頭販売は電動アシストスポーツバイクを中心に好調を維持しました。市場在庫も概ね適正な水準で推移しました。

北米市場では、完成車の店頭販売台数は微減であったものの、販売単価上昇もあり販売金額は前年並みで推移しました。市場在庫については概ね適正水準を保ちました。

中国市場では、完成車の店頭販売は昨年までの減少傾向に歯止めがかかり、前年並みで推移しました。市場在庫は適正に推移しました。

他の新興国市場において、ブラジル市場では政情不安等の影響で店頭販売が鈍化し、アルゼンチン市場では通貨安の影響で低迷が続きました。アルゼンチンを除いた市場在庫は概ね適正な水準で推移しました。

日本市場では、中高級スポーツバイクの販売は低調だったものの、通勤通学用クロスバイクや電動アシスト車の需要が伸長したことによる販売単価上昇もあり販売金額は前年並みで推移しました。市場在庫は適正水準を保ちました。

このような市況のもと、新製品である高級マウンテンバイクコンポーネントの「Deore XT」や「SLX」、中高級グラベルロードコンポーネント「GRX」が好評を得ました。また、電動アシストスポーツバイクコンポーネントのSHIMANO STEPSシリーズも前期に引き続いて好調を維持しました。

この結果、当セグメントの売上高は290,038百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は57,850百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

釣具

日本市場では、小売店の販売は9月まで堅調に推移しましたが、10月以降は台風の影響により足踏みする格好となり、最終的に前年並みとなりました。

海外市場において、北米市場では悪天候の影響が少なからずあったものの、堅調な国内景気に支えられ販売は順調に推移しました。欧州市場では全体としては力強さを欠いたものの、大陸の一部の国では持ち直しの兆しが見られ、さらにイギリスにおいては販売が回復し市場を下支えました。アジア市場では中国でのスポーツフィッシング関連商品の販売は継続して好調でした。豪州市場では、悪天候によるシーズンインの遅れから市場が停滞し販売は低調な結果となりました。

このような市況のもと、日本では、新製品を含む高中価格帯リールが好調で、ロッドでもルアー関連製品を中心に好評を博し、また、海外市場では、「SLX DC」、「STRADIC」等の新製品の販売が好調であったため、売上は前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は72,838百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は10,219百万円(前年同期比19.6%増)となりました。

その他

当セグメントの売上高は353百万円（前年同期比0.7%減）、営業損失は59百万円（前年同期は営業損失107百万円）となりました。

期末配当のご報告

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに、業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき、今回の期末配当金につきましては、前年同期と同額の1株当たり77円50銭の配当とさせていただきます。

した。これにより当期の年間配当額も前期と同額の1株当たり155円となりました。

なお、次期の配当につきましては、1株当たり年間配当額155円（中間配当金77円50銭、期末配当金77円50銭）を予定しております。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、米中通商問題や中東における地政学的リスクの高まり、また、新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な景気への影響が懸念されることに加え、欧州ではイギリスのEU離脱にかかる混乱が景気を減速させるおそれがあります。米国では個人消費の拡大による景気回復の持続が見込まれるものの、大統領選挙の趨勢が景気を左右する可能性があります。日本では、消費増税の駆け込み需要に対する反動や雇用・所得の改善速度鈍化などを背景に景気回復のペースは非常に緩やかなものとなることが懸念されます。

このような経営環境の中、当社は、国内外の経済動向を注視しつつ、経営効率のさらなる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進し、持続的な成長を目指してまいります。

その結果、2020年12月期の連結業績予想は以下のとおりといたします。

	2020年12月期	前年同期比(%)
売上高	3,720 億円	2.4
営業利益	687 億円	1.0
経常利益	717 億円	3.2
親会社株主に帰属する当期純利益	522 億円	0.7

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年3月

Shimano North America Holding, Inc.

今回は、シマノの重要マーケットである北米を統括するShimano North America Holding, Inc. (SNAH) をご紹介します。



カリフォルニア州アーバインにあるSNAHの社屋

シマノは、初の海外販売拠点として、1965年アメリカのニューヨークにShimano American Corporationを立ち上げました。その後、カリフォルニア州アーバインに拠点を移し、開設から約50年後の2017年8月に、シマノの北米事業をさらに拡大させるため、社名及び組織変更を行い、Shimano North America Holding, Inc.として新たに始動しました。

SNAHは、ホールディングカンパニーとして、北米の自転車部品販売事業を行うShimano North America Bicycle, Inc. (SNAB)、釣具販売事業を行うShimano North America Fishing, Inc. (SNAF) を傘下に抱え、これらのITや人事をはじめとする管理部門の役割を担うとともに、他の北米の子会社の統括部門としての機能も果たしています。これによって、北米の各社は、自らの事業に集中しやすい体制となりました。

アメリカは、マウンテンバイク (MTB) が人気で、MTB市場を常にリードする存在です。アメリカ市場の目まぐるしい変化の中で、SNABは、ユーザーのニーズをしっかり感じ取り、その情報をシマノ内において共有するという重要な役割を担っています。

釣りにおいても、アメリカ市場は急速な変化を見せており、また、多様な釣種のマーケットが存在するため、様々なユーザーのニーズを素早くとらえる必要があります。SNAFは、そのようなニーズを的確に把握し、課題を発見するという役目を与えられています。

SNAHは、SNAB、SNAFと共に、シマノの心躍る製品づくりに貢献してまいります。

アメリカの自転車文化

国土が広いアメリカでは、自転車はエクササイズや趣味として多くの人々に親しまれています。

高い強度や安定性で荒れた山道も走ることができるMTBはもちろん、最近ではロードバイクや太いタイヤとディスクブレーキで砂利道に適したグラベルライドバイクも人気となっています。



アメリカの釣り文化

アメリカの釣りのメインマーケットは、東海岸にあります。そのため、SNAFは東海岸にあるサウスカロライナ州に社屋を構え拠点としています。サウスカロライナ州は、河口や海岸、沖など様々な釣り場が充実しています。

広大なアメリカは地域ごとに釣りの対象魚種も様々です。また、同じ魚種を狙うにしても西海岸と東海岸とではタックル（道具）が異なることもあります。

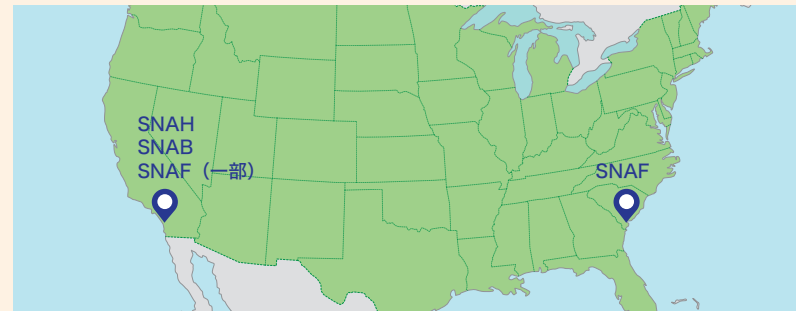
釣りはレジャーとしてたいへん人気があり、余暇・休日には海・湖にボートを浮かべ、家族や友人と釣りをしている様子が見受けられます。



サウスカロライナ州にあるSNAFの社屋

SNAHのあるカリフォルニア州は西海岸に位置し、自然豊かな山々や美しいビーチが広がり、アウトドアスポーツに適していて、MTB発祥の地としても知られています。また、移民も多く、アジアやメキシコなど様々な食文化が共存しています。

SNAFのあるサウスカロライナ州は、東海岸に位置する比較的温暖な場所です。中でもチャールストンは、南北戦争の端緒となったサムター要塞や旧市街の街並みが残り歴史を感じることができる人気の観光地です。



様々なライディングスタイルを実現する シマノのロードディスクブレーキ



今、ロードバイクにおけるブレーキシステムが、大きな転換期を迎えています。シマノがディスクブレーキをロード市場に投入してからここ数年でロードバイク市場はリムブレーキを使用したものからディスクブレーキを使用したものへと大きく変わりました。

ディスクブレーキの最大のメリットは、ブレーキの効きがリムブレーキと比較して天候に左右されにくいところです。急ブレーキや急な下り坂など、普段走っていると出合う神経を使うようなシーンでも、しっかりとブレーキをかけることができますので、自転車に対する信頼性を高めることになります。ブレーキの効き以外にも大きく違う点として、ホイール全体の設計にも影響を与えることが挙げられます。リムブレーキと異なりリム部に制動力を与えることが不要となり、素材を問わずリムを薄く軽量に作ることができ、ホイールの外周の軽量化が図れ走り出しが軽くなります。加えてブレーキをかけるのに必要な力が小さくなることで手が小さい方や握力が低い方でも容易にブレーキをかけることができ、また、長時間のブレーキングでも握力の消耗を軽減することができることも特長のひとつです。

シマノでは現在DURA-ACE、ULTEGRA、105、Tiagraの4つのロードコンポーネントシリーズにディスクブレーキを装備し、ロードバイク初心者から経験豊富な方まで、多くのお客様がロードバイクの新しい価値を体験いただけるように努めて参ります。

E-BIKEイベントを開催



シマノスクエアでは、自転車の楽しさを広げる様々なサイクリングイベントを開催しています。

2019年の秋には、「E-バイクフィッシング ～奥河内トラウト編～」を開催しました。電動アシスト機能が付いたE-BIKEにフィッシングタックルを取り付けて、大阪の金剛山にある管理釣り場へ向かいました。途中10kmほどの登り坂がありましたが、参加者は、電動アシストのおかげで会話や景色を楽しむことができた様子でした。到着後も、自然の中でのマス釣りを十分に楽しんでいただけたようでした。

本イベントを通じて参加者の皆様には、E-BIKEがあれば気軽にアウトドアレジャーを楽しめることを感じていただけたことと思います。今後もシマノは、E-BIKEを含めたスポーツバイク市場の活性化に向けた取り組みを継続して参ります。

リムブレーキ、ディスクブレーキとは？

リムブレーキとは車輪の外周部分をゴムのような素材で挟み込むことにより、自転車の速度を制御するブレーキの種類で、一般的な自転車に広く使われています。

ディスクブレーキとは車輪とは別に回転部を設けて、それを樹脂または金属の素材で挟み込むことによって自転車の速度を制御するブレーキの一種です。リムブレーキに比べて構造が複雑になりますが、車輪とブレーキの構造を完全に分離することにより、ブレーキの性能を高めることができるというメリットがあります。



千載一遇のチャンスを掴め！ オフショアビッグゲーム

近年盛り上がりを見せている船からのルアーフィッシング。この釣りはソルトウォーターの釣りのカテゴリーでは「オフショアフィッシング」と呼ばれ、幅広い魅力的なターゲットが多くの釣り人を楽しませています。

その中でもマグロ類・カンパチ・ブリなどの大型魚を対象とするオフショアビッグゲームは、時には200kgを超える魚を相手にするなどアングラーにとっては体力と技術、釣り道具にとっては極限の状態における性能を試される夢の釣りとされています。

2020年、シマノはこのオフショアビッグゲームに対応した、一生に一度のチャンスを掴むための数々の新製品を発売する予定です。

スピニングリールカテゴリーにおいては4000～30000サイズの幅広いラインナップを揃えた「ステラSW」、両軸リールカテゴリーにおいては、深海や大型魚に対応可能なジグングリール「オシアジガー 4000/4000HG」、オフショアビッグゲーム用のロッドとして「オシアブラッガー BGシリーズ」「オシアジガー インフィニティシリーズ」、ルアーにおいてはシマノ独自のフラッシング構造をもった「フラッシュブースト」採用ルアー、深海をも射程に捉える700g/900gまでのラインナップを揃えた「オシア イージーベブル」など、新製品が目白押しです。



これら多くの新製品をお客様に認めていただくためには、実際の釣り場における日々の「実績」の積み重ねが大変重要です。これらをもとに、開発型製造業として、製品の企画開発・製造・販売に取り組んでいます。これからもお客様にとって生涯の思い出となる魚たちとの出会いを、信頼を持ってサポートする釣り道具を提案し続けて参ります。



「釣り百景」BS-TBSにて放映中

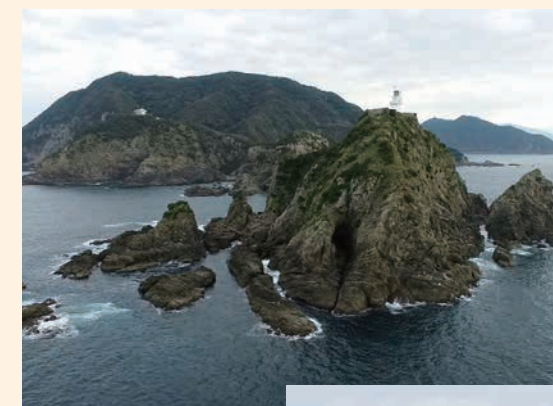
シマノがスポンサーをしているBS-TBS「釣り百景」は2013年10月に番組が始まり、放送開始7年目を迎えました。

全国放送のBS-TBSで、毎週木曜の夜10時から放映しており、多くのお客様にご覧いただき、好評をいただいております。

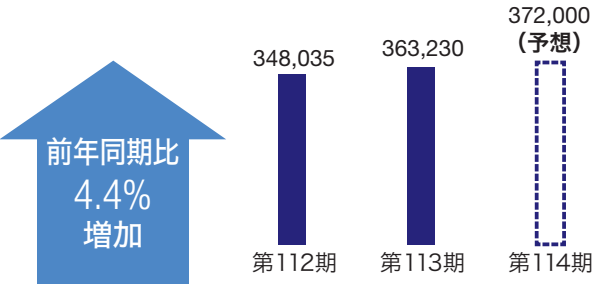
番組の内容は「釣り」「自然」「人」との出会いを求めて、海、川、秘境を巡る釣り紀行。各界の著名人やその道を極めたインストラクターたちが登場し、釣りの魅力・面白さ・奥深さや、釣りを通して紡ぐ人間ドラマをお届けしています。

そしてテーマは釣りだけにとどまらず、その土地の文化・食にもクローズアップし、コアな釣りファンはもちろん、釣りの初心者や普段は釣りをしていない方も楽しめる中身の濃い番組となっています。

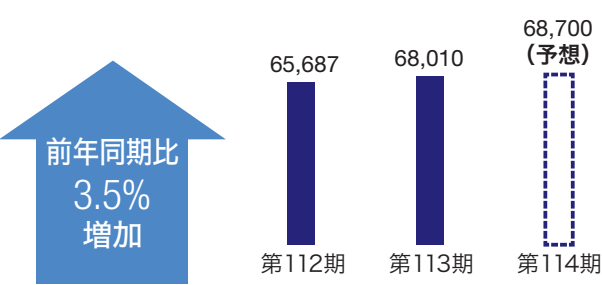
ぜひとも、ご覧いただければ幸いです。



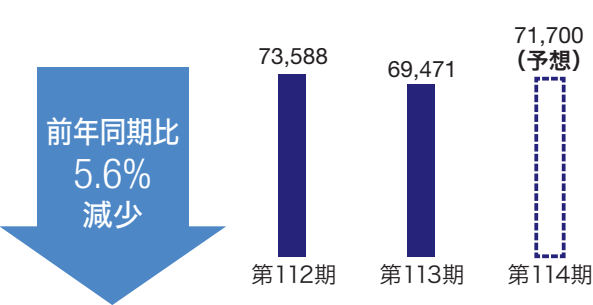
連結売上高（単位：百万円）



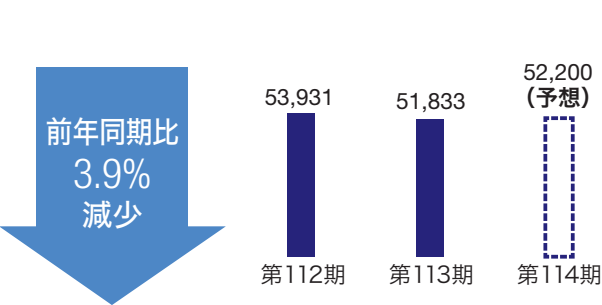
連結営業利益（単位：百万円）



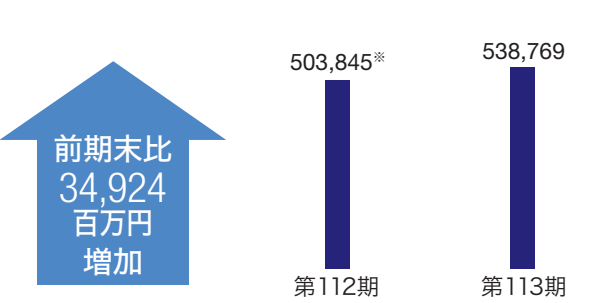
連結経常利益（単位：百万円）



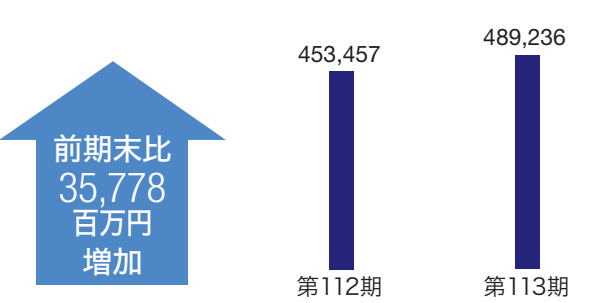
親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）



連結総資産（単位：百万円）



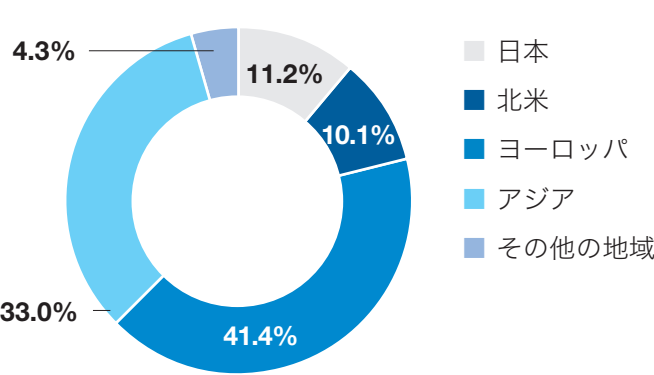
連結純資産（単位：百万円）



■ 地域別売上高の状況（単位：百万円）

	第112期	第113期
日本	41,180	40,734
北米	35,855	36,664
ヨーロッパ	140,049	150,140
アジア	115,220	119,982
その他の地域	15,729	15,709

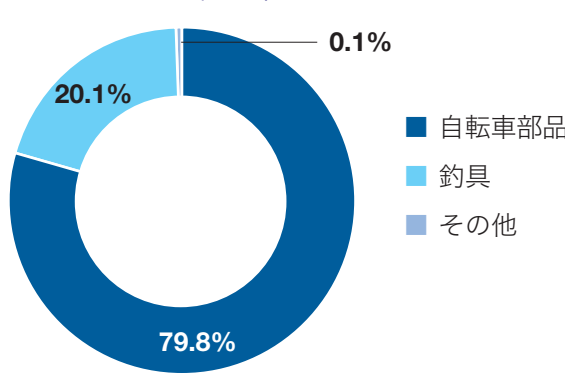
地域別売上高比率(第113期)



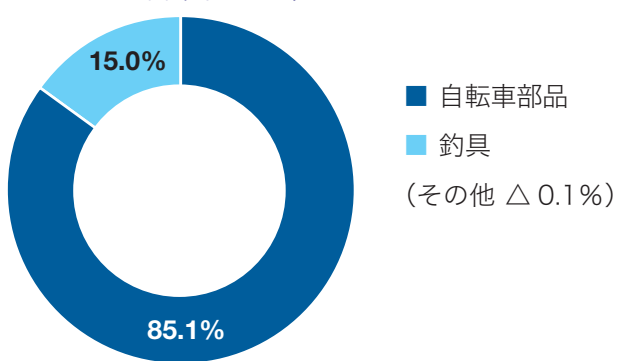
■ セグメント別売上高と営業損益の状況

	第113期	売上高 (単位：百万円)	増減率 (前年同期比)	営業損益 (単位：百万円)	増減率 (前年同期比)
自転車部品		290,038	4.6%	57,850	1.0%
釣具		72,838	3.4%	10,219	19.6%
その他		353	△ 0.7%	△ 59	—%

セグメント別売上高比率(第113期)

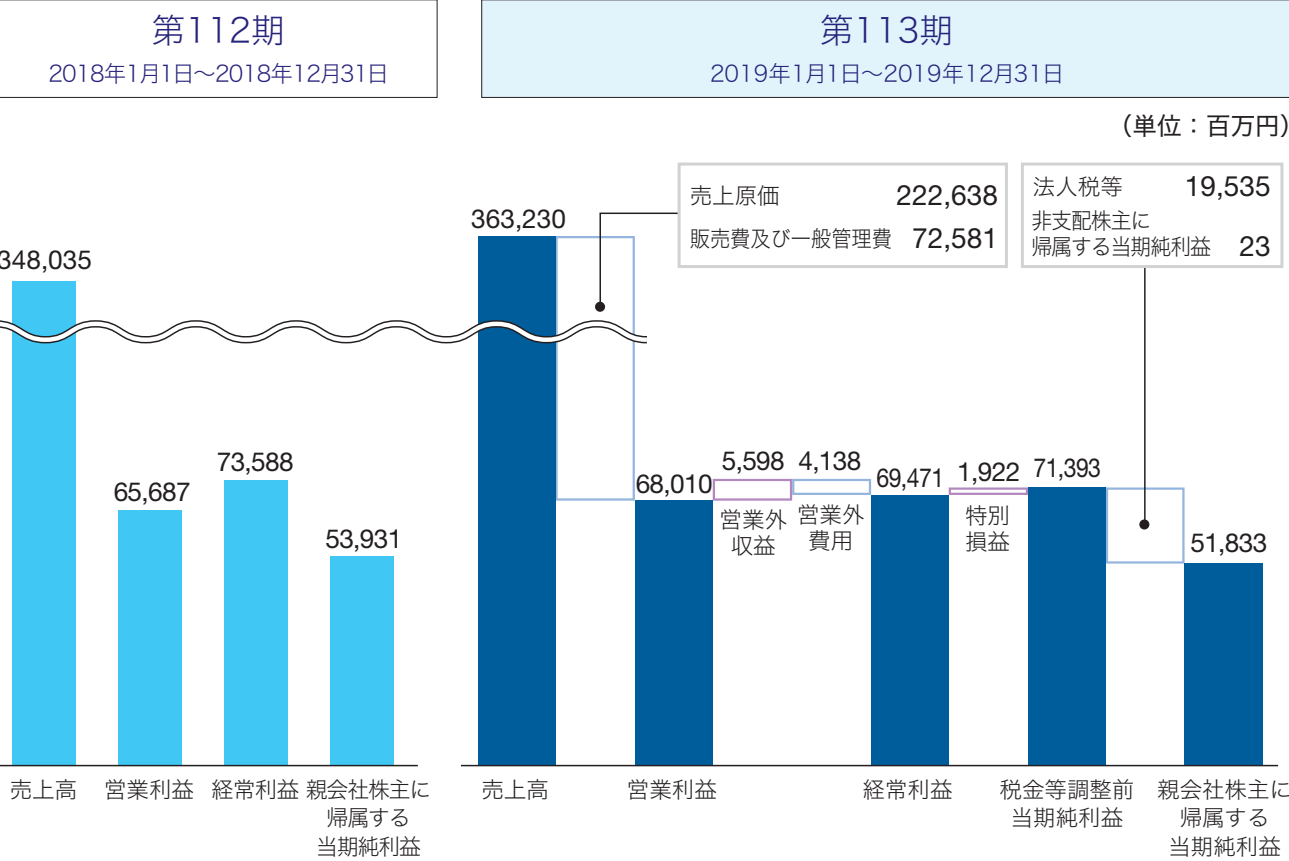


セグメント別営業利益比率(第113期)



※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第113期の期首から適用しており、第112期の連結総資産については当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

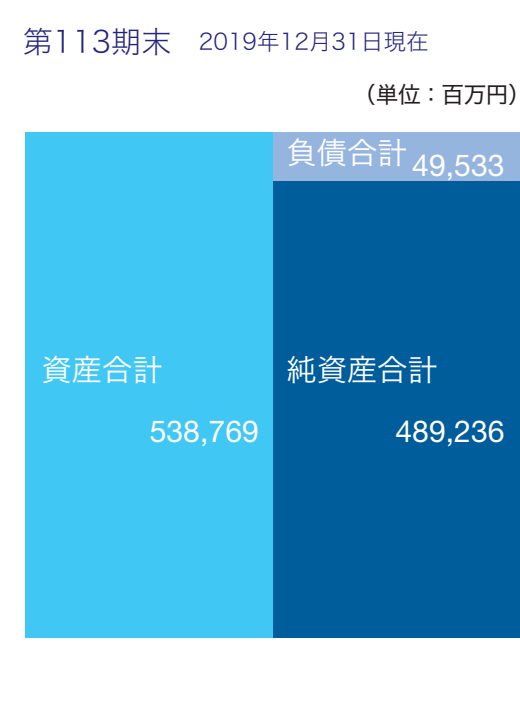
■ 連結損益計算書（要約）



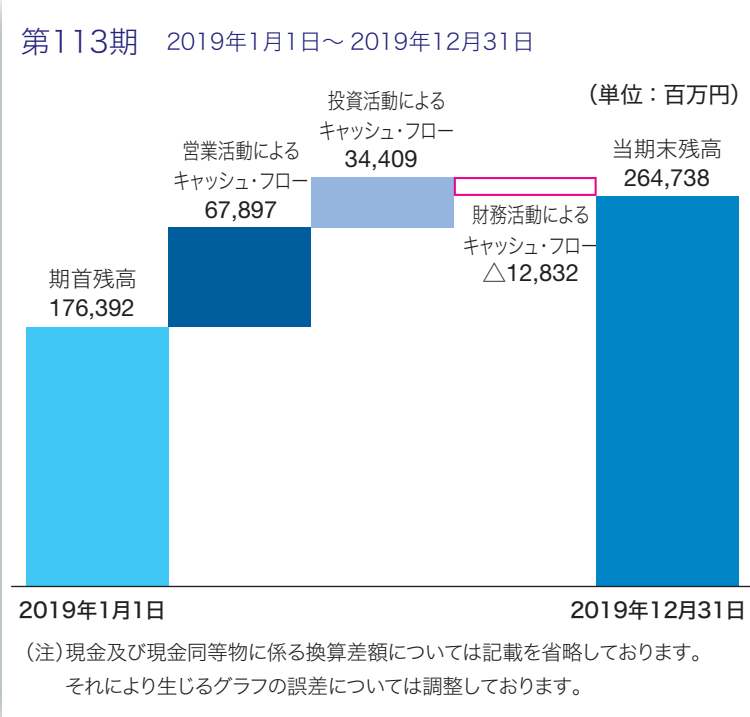
第114期予想(連結)

	業績予想				セグメント別売上高予想		
売上高	3,720 億円	前年同期比	2.4%増	自転車部品	2,965 億円	前年同期比	2.2%増
経常利益	717 億円	前年同期比	3.2%増	釣具	750 億円	前年同期比	3.0%増
親会社株主に帰属する当期純利益	522 億円	前年同期比	0.7%増	その他	5 億円	前年同期比	41.5%増

■ 連結貸借対照表（要約）

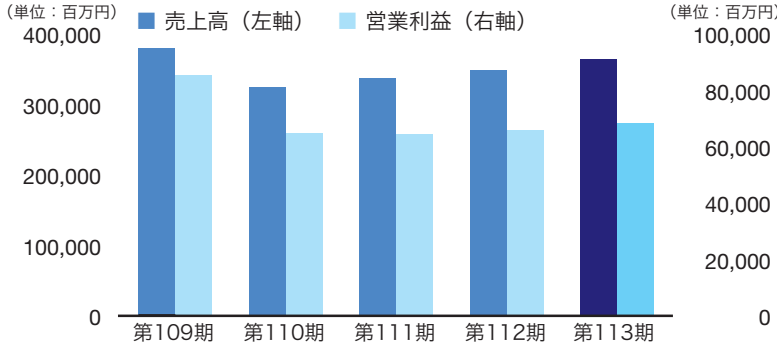


■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）



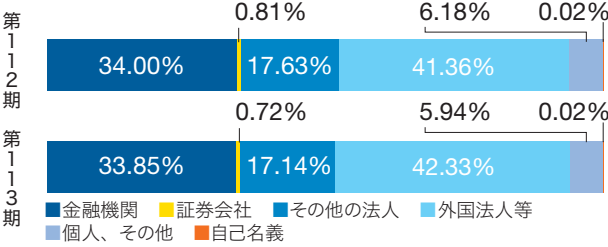
売上高と営業利益の推移

第113期の売上高・営業利益は、自転車部品事業では、欧州市場で電動アシストス
ポーツバイクシステムが順調に伸び、また、
釣具事業では、リール等の新製品が好調で
あったことから増収増益となりました。

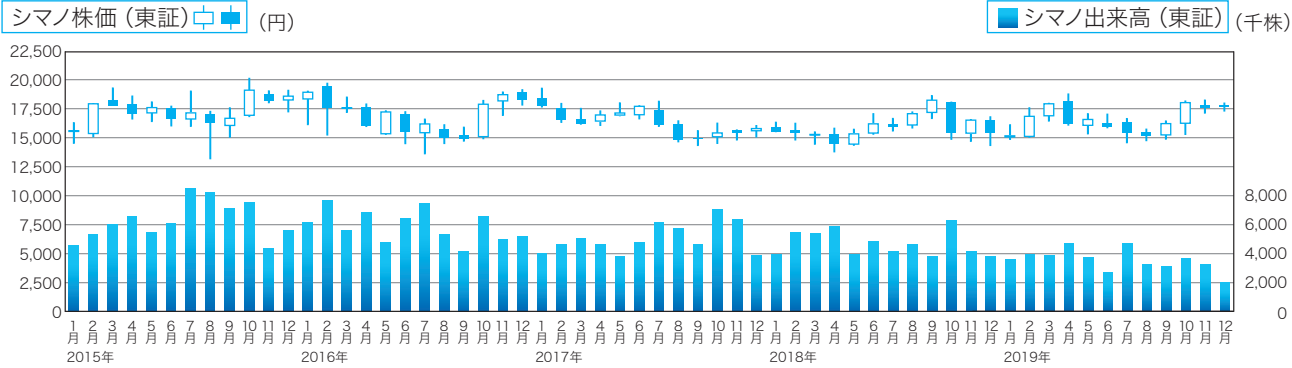
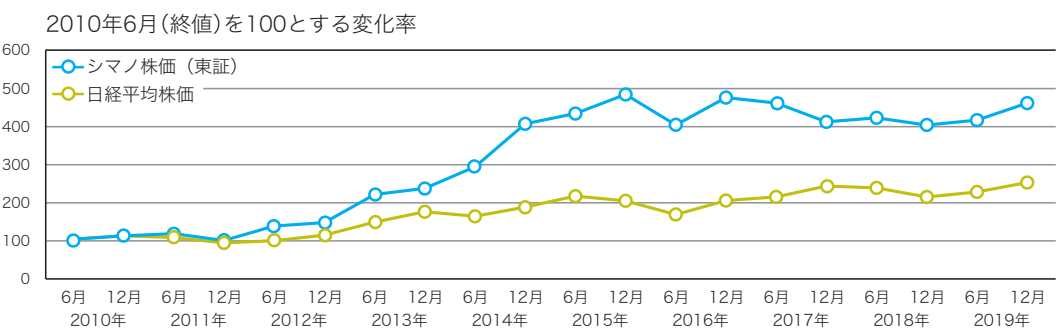


- 発行可能株式総数 262,400,000株
- 発行済株式の総数 92,720,000株
- 株主数 6,234名
- 単元株式数 100株

所有比率



株価チャート



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
湊興産株式会社	7,715	8.32
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,469	6.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,136	5.54
太陽工業株式会社	4,060	4.38
JP MORGAN CHASE BANK 380055	3,687	3.98
株式会社スリーエス	2,171	2.34
日本生命保険相互会社	2,098	2.26
株式会社三菱UFJ銀行	2,066	2.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,848	1.99
株式会社りそな銀行	1,711	1.85

(注)持株比率は自己株式(19,272株)を控除して計算しております。

社名 株式会社シマノ
英文社名 SHIMANO INC.
創業年月 1921年2月
設立年月 1940年1月
資本金 35,613百万円
従業員数 1,379名
事業内容 自転車部品、釣具、ロウイング関連用品等の製造販売
本社 〒590-8577
大阪府堺市堺区老松町3丁77番地
U R L <https://www.shimano.com>

役員

代表取締役社長	島野 容三	取締役	大竹 正浩
代表取締役副社長	角谷 景司	取締役	清谷 欣司
専務取締役	島野 泰三	取締役	吉田 保
専務取締役	豊嶋 敬	社外取締役	一條 和生
常務取締役	平田 義弘	社外取締役	勝丸 充啓
常務取締役	津崎 祥博	社外取締役	榊原 定征
常務取締役	チア チン セン	常勤監査役	島津 孝一
取締役	樽谷 潔	常勤監査役	勝岡 秀夫
取締役	松井 浩	社外監査役	野末 佳奈子
取締役	大津 智弘	社外監査役	橋本 敏彦

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	3月	株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
基準日	期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年 6月30日	事務取扱場所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 (https://www.shimano.com) ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	電話照会先	☎ 0120-782-031
		ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
		証券コード	7309